

令和 6 年度

事業計画書

令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 ICT 救助隊

I 事業実施の方針

【パソコン等講習事業】

障害者施設等からの要望があった場合に対応したいと思います。

【支援者養成講習事業】

一般社団法人日本難病・疾病団体協議会から令和 6 年度厚生労働省補助事業「難病患者サポート事業」「重症難病患者のコミュニケーション支援者養成講座」の委託が決まりました。オンライン 18 回、集合研修 3 回を予定しています。

集合研修の比重を少し増やしていくとともに、Zoom やオンデマンドなど様々な発信方法で、支援の知識を広めていきたいと思っています。

貸出事業の広報により、地方からの機器貸出や講習会の依頼を受けています。地域に応じた支援を考えていきたいと思っています。

【出張サポートおよび個別相談事業】

今年度も東京都立城南特別支援学校から外部専門員の委託が決まりました。

訪問サポートは、オンラインでの遠隔サポートも活用しながら当事者の支援を行います。

【イベント事業】

開催に協力している「自分をプレゼン!」は、10 月に栃木県宇都宮市で開催するほか、東京もしくはオンラインで 1 回開催を予定しています。

今年度は一般社団法人日本難病・疾病団体協議会から令和 5 年度厚生労働省補助事業「患者（相談）支援事業」「一般市民向け周知」として 54 万円の助成が決定しました。独自事業として自立した活動ができるよう、資金や人員の確保を考えていきたいと思っています。

他団体からのイベント開催における配信等のサポートの依頼が増えています。ノウハウの蓄積とともに、機材の拡充を図りたいと思っています。

【技術開発、普及事業】

貸出事業は、昨年度日本財団から「神経難病患者への支援機器貸出」として助成を受け、支援機器保有状況のデータ化を行いました。今年度は文科省の「2024 年度読書バリアフリーコンソーシアム事業」で継続して調査・検証を進めていく予定です。支援機器のマニュアル作成は継続していくとともに、より有効な広報の検討とホームページの拡充を進めたいと思っています。

iPad のスイッチボックスの開発提供は順調に数が伸びていますが、製作の人員不足が見受けられるようになってきました。協力者の増強を図っていきたいと思っています。

慈恵医大を中心に活動しているアクセシビリティ・サポート・センター（ASC）の取り組みについて、講演会・勉強会の開催と技術支援で業務委託契約を結びました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲	支出見込額 (千円)
パソコン等講習事業	難病患者、障害者等へのコミュニケーション支援機器、パソコン、携帯電話など情報機器を操作する等の技術習得を援助する講習	—	—	—	—	—
支援者養成講習事業	コミュニケーション支援機器、パソコン、携帯電話など情報機器を操作する等の技術習得を援助する人材を育成する講座	18回	オンライン	77名	医療、介護、福祉関係の支援者や当事者、家族など	3,000
	・一般社団法人日本難病疾病団体委託事業					
	東京	7月6日		5名		
		7月7日		4名		
	熊本	9月28日		4名		
		9月29日		5名		
	栃木	10月5日		5名		
	・浜松市・神経難病療養者の支援者の会	7月27日	浜松市	5名		
	・東京都障害者 IT 地域支援センター養成講座	7月23日	オンライン	1名		
		7月26日	〃	1名		
	・重度訪問介護者養成講座(川崎市)	9月5日	川崎市	2名		
	・山口県障害者社会参加推進センター	9月6日		3名		
		9月7日		3名		
	・小金井市障害者地域自立生活支援センター	11月16日		2名		
	・大学演習					
	日本赤十字看護大学	5月8日	渋谷区	5名		
	国際医療福祉大学	5月15日	成田市	4名		
	東京純心大学	5月21日	八王子市	3名		
	昭和大学	5月22日	横浜市	2名		
	〃	7月10日	〃	5名		
東京都立大学	6月14日	足立区	3名			
〃	6月21日	〃	3名			

出張サポート および個別相 談事業	難病患者、障害者等へのコミュニケーション支援機器、パソコン、携帯電話など情報機器を操作する等の技術習得を援助する出張サポートあるいは個別相談を行う事業。 ・東京都立城南特別支援学校	随時 27回	患者宅、病院等の現地 オンライン、 電話等	30名 10名 54名	医療、介護、福祉関係の支援者や当事者、家族など	1,800
生活支援、外出補助事業	難病患者・障害者を含む一般市民の日常生活における家事援助等日々の生活支援、及び外出補助を行う事業	—	—	—	—	—
イベント事業	難病患者・障害者の社会参画を援助し、QOL(生活の質)を高めるための講座、イベント等を行う事業 ・自分をプレゼン! ・日本 ALS 協会総会	2回 2回	栃木 新宿区		医療、介護、福祉関係の支援者や当事者、家族など	700
技術開発、普及事業	難病患者、障害者を含む一般市民の生活およびコミュニケーション、IT 環境をサポートするための新技術開発、研究、普及に関する事業。 ・支援機器貸出 ・技術支援(ASC)	随時	随時	20名 50名 24名	医療、介護、福祉関係の支援者や当事者、家族など	500
社会参画、就労支援事業	難病患者、障害者等の社会参画を援助し、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する事業。	—	—	—	—	—
その他事業	その他上記の事業の目的を達成するために必要な事業	—	—	—	—	—